学校番号	1004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	もう一つの 現代社会	単位 数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主権者としての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
・現代社会の様々な出来事の歴史的背景やメカニズムを意識して学習する。
・身につけた知識や抱いた問題意識を、「発信する」ことを大切にする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代社会の諸課題の要因を歴史的観点から考察することができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・資料を通じて、課題の要因を分析する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
・「発信する」経験を通じて、学び続けようとする姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質について広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会に対する政治的、経済的な関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、より良い社会を形成していく市民としての責務を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	現代社会の課題を「知る」	・対話を通じたグループワーク ・「エンパシー」、「寛容」、「エシカル」などキーワードを通じた学習 ・テーマを選定した個人発表	a: 現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b: 現代社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c: よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	レポート	レポート	提出ノート
2学期	現代社会の課題を「学び、理解を深める」	・対話を通じたグループワーク ・「防災」、「ジェンダー」、「経済格差」などキーワードを通じた学習 ・テーマを選定したグループ発表	a: 現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b: 現代社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c: よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	レポート	レポート	提出ノート
3学期	現代社会の諸課題を「発信する」	・対話を通じたグループワーク に加え、ディベート ・「ポリコレ」、「SDGs」、「裁判傍聴」などキーワードを通じた学習 ・新聞への投稿や、学習を記録する冊子作成	a: 現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解することができている。 b: 現代社会の一員として必要な選択・判断の基準となる考え方や理論を活用することができている。 c: よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢がある。	レポート	レポート	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度